

「徳島県西部圏域振興計画」平成21年度事業進捗状況一覧表

* この資料は、平成22年1月末時点での平成21年度末進捗状況見込みを取りまとめています。

重点項目・施策	ページ
1 農林業資源や地域特性を活かした産業の振興	1
(1) 地域の特色を活かした農業振興	1
(2) 森林資源を活かした林業振興	2
(3) 地産地消の推進	3
(4) 地域特性を活かす商工業の振興	4
2 観光資源を活かした交流と定住の促進	6
(1) にぎわい交流のための道路網の整備	6
(2) 観光交流の推進	7
(3) 団塊の世代をはじめとする都市住民の交流・定住の推進	11
3 情報通信基盤整備の促進と圏域からの情報発信	12
(1) 情報通信基盤整備の推進	12
(2) 圏域の情報発信	13
4 健康で安全・安心に暮らせる環境づくり	14
(1) 防災対策	14
(2) 健康づくり	16
(3) 医療・福祉サービス	21
(4) 子育て支援	24
(5) 食の安全・安心	26
(6) 消費者対策	27
5 環境資源の保全と暮らしとの共生	27
(1) 水質保全	27
(2) 環境保全	28
(3) 自然とのふれあい	30
6 地域に根ざした産業や文化を支える人づくり	31
(1) 担い手育成	31
(2) 地域文化の継承とコミュニティーの活性化	32
7 多様な主体の連携・協働による地域づくりの活動の推進	33
(1) 住民・NPO等との連携	33
(2) 市町との連携	34

「徳島県西部圏域振興計画」平成21年度事業進捗状況一覧表

1 農林業資源や地域特性を活かした産業の振興 ~ いきいきと働ける西部 ~

(1) 地域の特徴を活かした農業振興

施策・数値目標	平成21年度の進捗状況
<p>地域条件に即した農業生産基盤（用排水路・農道等）や農村生活環境基盤（集落道・農村公園等）の整備を図ります。経営感覚に優れた農業者や農作業の受託を行うファームサービス事業体の育成を進めます。</p> <p>認定農業者数（累計） ¹⁸231経営体 ²²285経営体 ファームサービス事業体数（累計） ¹⁸12経営体 ²²16経営体</p>	<p>用排水路（1,877m）農道（1,658m）集落道（1,040m）等の整備を行った。引き続き、パソコン簿記講習会等の開催や、経営改善計画の作成支援を行い、経営感覚に優れた農業者やファームサービス事業体の育成を進めた。</p> <p>認定農業者数 ²¹5経営体 累計256経営体</p> <p>ファームサービス事業体数 ²¹3経営体 累計16経営体</p>
<p>小規模農家の集出荷システムの構築を進めます。</p>	<p>高齢者などが小規模に栽培する農作物を産直市やJA出荷場に搬送する集出荷システムを構築し、中山間農業者の経営安定を支援した。さらに、地元農作物を地域内の学校給食等に配達する流通システムを構築した。</p>
<p>小規模農家集出荷システムの構築 ²¹構築 ブランド品目」や「育成品目」、「徳島ならではの品目」を育成・強化します。 ブランド品目 美馬地域：にんじん、生しいたけ、ゆず、シンビジウム、阿波尾鶏 三好地域：生しいたけ、ゆず、阿波尾鶏 育成品目 美馬地域：夏秋なす、レタス、ブロッコリー 三好地域：夏秋なす、トマト、いちご 徳島ならではの品目 美馬地域：タラノメ、ぶどう、山ふき、ギンナン、ピーマン、柿、ブルーベリー 三好地域：いんげん、山菜</p>	<p>小規模農家集出荷システムの構築 ²¹構築 各作物の栽培講習会等による栽培技術支援を行った。</p> <p>夏秋なす、ブロッコリー、タラノメなど優良品種への更新を推進した。</p> <p>ブランド産地強化計画をもとに、地域内での露地野菜産地の復活や農業者を認定農業者、エコファーマー等へ誘導するとともに、産地の生産・販売体制の改善及び強化に取り組んだ。</p>
<p>プロイラーなどから排出される家畜排せつ物の堆肥化をすすめ、環境に優しい農業を推進します。 家畜排せつ物の堆肥化率 ¹⁸87% ²²98%</p>	<p>管内畜産農家における堆肥化率の維持向上に努めた。</p> <p>家畜排せつ物の堆肥化率 ²¹98%</p>
<p>エコファーマーを育成・支援します。</p>	<p>認定期間が満了する者の再認定を推進するとともに、計画認定申請書作成及び栽培技術講習会を行うなど、エコファーマーの育成支援を行ない、新たにれんこん、ブロッコリー栽培者などが認定を受け</p>

エコファーマー認定数（累計） 18 357人 22 415人	た。 エコファーマー認定数 21 29人 累計453人
-----------------------------------	--------------------------------

(2) 森林資源を活かした林業振興

施策・数値目標	平成21年度の進捗状況
<p>施業の集約化と、モデル林の設置等による森林認証の取得を進めます。</p> <p>間伐団地面積（累計） 18 2,772ha 22 4,772ha 森林認証取得面積（累計） 18 820ha 22 9,000ha 森林認証モデル林の設置 設置 林業生産基盤の整備を図ります。 新間伐システムの導入・稼働数（累計） 18 5セット 22 10セット</p> <p>作業道の開設延長（累計） 18 81,000m 22 315,000m 搬出間伐を推進し素材の安定生産を図ります。 間伐実施面積（4カ年累計） 22 8,100ha うち搬出間伐面積（4カ年累計） 22 2,200ha 搬出間伐材積（4カ年累計） 22 126,000m³</p> <p>森のエキスパート（技術者）育成者数（累計） 18 20人 22 40人 地域産材の産地認証、品質認証や住宅、公共工事（残置型間伐材型枠、木製ガードレール等）への使用など木材の需要拡大への取り組みを推進します。 徳島県木材認証制度 登録事業所数（累計） 18 19事業所 22 30事業所 公共事業における地域産材使用量 18 810m³ 22 900m³ 製材端材などの未利用資源を木質バイオマス エネルギーとして利用研究や農業分野へのバーク利用に取り組みます。</p>	<p>引き続き施業の集約化を進めるとともに、美馬市木屋平に設置した「森のショーウィンドウ」を活用し、森林認証の認知度向上・取得促進を図った。また、施主が実際に認証森林を見て納得して住宅用材を購入できる「森のショーケース(販売用認証森林)」を15カ所設定した。</p> <p>間伐団地面積 21 3,940ha 累計10,992ha 森林認証取得面積 21 3,504ha 累計8,720ha</p> <p>新間伐システムを新たに2セット導入するための支援を行った。 新間伐システムの導入・稼働数 21 2セット 累計10セット 搬出間伐を行うための作業路が79,300m開設された。 作業道の開設延長 21 79,300m 累計290,381m</p> <p>搬出間伐を中心に、素材生産の増大を図った。 間伐実施面積 21 1,829ha 累計:6,052ha うち搬出間伐面積 21 364ha 累計:1,209ha 搬出間伐材積 21 20,830m³ 累計:78,932m³</p> <p>職場での実務を通じて行う従業員の教育訓練を中心に、森のエキスパート育成の支援を行った。 森のエキスパート(技術者)育成者数 21 8人 累計40人</p> <p>引き続き、木材の需要拡大への取り組みを推進した。 また、「森林整備加速化・林業飛躍事業（H21経済対策補正）」を活用し公共事業の木造化を推進した。 徳島県木材認証制度登録事業所数 21 3事業所 累計28事業所 公共事業における地域産材使用量 21 1,500m³</p> <p>未利用木質資源の利用拡大を図るため、管内で発生する林地残材を対象に収集・運搬・販売までの実証試験を実施し、今後の利用拡大</p>

<p>バイオマス利用研究会の設置 ¹⁹ 設置</p> <p>林地残材を林内から搬出し、出荷場まで運搬するシステムの検討を行います。 林地残材搬出・運搬システムの検討 ²¹ 実証試験</p>	<p>を図るためのデータ等を集積し、採算性等の検討を行った。</p> <p>三好市では、平成20年度に三好市バイオマスタウン構想を策定した。構想の柱として菜の花、ヤトロファ、木質バイオマス利用、廃棄物資源化のプロジェクト4項目について具体化できるものから活用目標達成に向けた検討・推進を行った。 林地残材を林内から搬出し、出荷場まで運搬するシステムの検討を行った。 林地残材搬出・運搬システムの検討 ²¹ 実証試験</p>
--	--

(3) 地産地消の推進

施策・数値目標	平成21年度の進捗状況
<p>消費者と生産者の交流を通じ地域産品の利用を促進します。</p>	<p>消費者と生産者の交流、イベント等への出展により、地域産品の消費拡大を促進するとともに学校給食における地域食材の活用に取り組んでいる。</p>
<p>農産物直売所の売上額 ¹⁸ 575百万円 ²² 750百万円</p>	<p>農産物直売所の売上額 ²¹ 762百万円 11月1日から12月6日までスタンプラリーを開催し、消費者への産直市のPRを行い、利用者の増大を図った。</p>
<p>産直市スタンプラリーの開催 ²¹ 開催</p>	<p>スタンプラリーの開催 ²¹ 開催</p>
<p>学校や福祉施設、宿泊施設等の連携した新たな地域内流通システムの検討</p>	<p>HPやパンフレットの配付による周知等により協力店への登録の促進に取り組んだ。</p>
<p>地産地消協力店数(累計)</p>	<p>地産地消協力店数 ²¹ 1店 累計41店</p>
<p>¹⁸ 25店 ²² 43店</p>	<p>学校や地産地消推進協議会等における食農教育の実施を支援した。</p>
<p>学校における食育の取り組みを支援し、地産地消を推進します。</p>	<p>食農教育に取り組む市町数 ²¹ 4市町</p>
<p>食農教育に取り組む市町数</p>	<p>美馬市では学校や地産地消推進協議会等における食農教育の実施を支援した。</p>
<p>¹⁸ 3市町 ²² 4市町</p>	<p>学校給食における地産地消推進市町数 ²¹ 4市町</p>
<p>学校給食における地産地消推進市町数</p>	<p>美馬市では、栄養教諭との連携により、学校給食等における地場産物の活用を推進した。また、学校給食等において、地場産物の使用品種を増やした。</p>
<p>¹⁸ 1市町 ²⁰ 4市町</p>	<p>三好市では、食育の取り組みや学校給食等への地元産食材の使用を推進するとともに、供給体制の確立に取り組み、米、各種野菜を産直組合から購入した。</p>

<p>「とくしま安²（あんあん）農産物認証制度」による安全で安心な農産物の供給を推進します。</p> <p>とくしま安²（あんあん）農産物認証数（累計） ¹⁸ 7件 ²² 12件</p>	<p>つるぎ町では、地産地消推進協議会が町内小学生による農産物（タマネギ・じゃがいも）の収穫体験を実施し、収穫した食材を学校給食センターで調理するなどの食育に取り組んだ。</p> <p>東みよし町では、年間を通して地元でとれる野菜を産直組合から購入しており、種類・量ともに増加の必要性を考えている。また、三加茂学校給食センターでは、主食である米についても地元生産者から購入した。</p> <p>制度説明や生産品質管理体制の改善により、認証取得を推進し、新たに菌床しいたけ栽培者が認定された。</p> <p>とくしま安²（あんあん）農産物認証数 ²¹ 1件 累計9件</p>
<p>食品表示の適正化に向けた啓発指導を行います。</p>	<p>JAS法等による食品表示の適正化に向けた啓発指導を行った。</p>
<p>農薬の適正な使用・管理を行う農薬適正使用アドバイザーを育成します。</p> <p>農薬適正使用アドバイザー数（累計） ¹⁸ 127人 ²² 150人</p>	<p>講習会でポジティブリスト制度、最新農薬情報等を周知し、新規認定及び再認定により農薬適正使用アドバイザーの育成に努めた。</p> <p>農薬適正使用アドバイザー数 ²¹ 12人 累計167人</p>
<p>木づかい運動や圏域内の製材関係者、建築関係者との連携を進め地域産材の需要拡大を推進します。</p>	<p>局内に設置した「西部総合県民局木材利用促進検討会」（2回開催）で出されたアイデアから、「木製避難所間仕切り」「音響パネル」「木製スタチ君」等の試作品を作成し木製名札に続く木製品の検討を行った。また、公共事業への木材使用を呼びかけるとともに、三好地域木造住宅推進協議会の活動や美馬地域での助成制度の実施に協力し、地域産材使用木造住宅の建設を推進した。</p>

（４）地域特性を活かす商工業の振興

施策・数値目標	平成21年度の進捗状況
<p>市町や商工団体などと連携し、地場産業の振興方策や商店街活性化の自発的な検討を促進します。</p>	<p>地域振興セミナー及び地域ビジネス創出に係る研究会を開催し、地域資源の活用による地域活性化や地域特産物（そば）による農商工連携の取り組みを推進した。</p> <p>また、建設業者と市町等関係機関が連携して、建設業者の異業種参入等を進める応募事業の取り組みを支援した。（三好お札の里協議会、剣山うだつを上げるそば協議会、パンプキンタウン創造協議会）</p> <p>美馬市では美馬市商工会と連携してプレミアム付き商品券330,000千円を発行し市内商店・事業所での流通を促進することにより市内経済の活性化を図った。また、企業誘致奨励パンフレットを作成し市内地域の特性を活かした企業誘致活動を進めた。</p>

三好市では、中心市街地活性化に向け商工会議所と連携し、各活性化事業の精緻化を図り計画認定を目指す。また、市内全域からの特産品を「三好の逸品」として選定し、インターネットによる販売等、広く全国発信している。また、定額給付金交付事業を機に地域の商業を活性化しようとする商業団体が自主的に行う商業振興事業に対し三好市商店会等活性化補助金を交付し市内経済の活性化を図る事業を実施した。雇用情勢が悪化している現在、三好市は、一定の要件を満たす事業主に「再就職緊急支援事業補助金」を交付し、非自発的離職者の再就職促進と市内の雇用環境の改善を目指す。

つるぎ町では、二層うだつの幹線道路をカラー舗装することにより、町並みのイメージアップを図り地元商店街の活性化を促進した。

東みよし町では、商工会が、町内の商工会加盟の商店・事業所等で一定額以上の買物をした人に対して、賞金付抽選くじを発行し、町内での購買意欲を高め町内経済の活性化を図った。

市町や徳島県西部圏域立地推進協議会などとともに、地域特性等を活かした企業誘致活動を進めます。

市町と連携し企業誘致活動の推進するため、情報収集や立地企業訪問等を行った。

美馬市では工場適地等の調査を随時実施しながら、企業情報を収集し誘致活動を展開した。

平成21年度 情報関連企業1社の立地

三好市では、工場適地等の調査を随時実施しながら、企業情報を収集し誘致活動を展開した。

つるぎ町では、町工業団地に企業を誘致するため、企業情報の収集や工業団地のPRのほか、県と連携し企業訪問等に取り組んだ。

東みよし町では、町職員によるプロジェクトチームを設置し、将来的な雇用の確保や町の活性化策を検討し企業誘致や地元企業育成策の研究を進めた。

2 観光資源を活かした交流と定住の促進 ~ 笑顔が行き交いにぎわう西部 ~

(1) にぎわい交流のための道路網の整備

施策・数値目標	平成21年度の進捗状況
<p>広域交流拡大のため、徳島自動車道の追越車線等の付加車線設置を促進します。</p>	<p>国や西日本高速道路(株)へ要望した。阿波パーキングエリア東の上り車線に約1kmの「ゆずり車線」が設置された。</p>
<p>主要幹線道路である一般国道32号などの整備を促進します。 一般国道32号猪ノ鼻道路(延長8.4km)の整備 17 調査中 22 工事施工中 道路情報案内板等からの情報発信を進めます。</p> <p>イベント情報等を表示した道路情報板数 18 0箇所 22 14箇所 高速道路インターチェンジ周辺への案内板設置箇所 18 0箇所 22 2箇所</p>	<p>一般国道32号猪ノ鼻道路(直轄)の整備が促進された。 一般国道32号猪ノ鼻道路(延長8.4km)の整備 21 用地交渉・工事の促進 徳島県管理の道路情報板により、本来の通行規制情報に加え観光情報やイベント情報を表示し情報の発信に努めた。 イベント情報等を表示した道路情報板数 21 15箇所(9路線)</p> <p>東みよし町では、吉野川ハイウェイオアシス内の観光情報ステーションにおいて、整備した大型モニター・お客様用開放パソコン・ステージ前ライブカメラにより、観光情報やイベント情報等を来客者に提供した。</p>
<p>国道などの狭あい部分で、対向車接近表示システムを設置し通行の安全性・快適性を確保します。</p> <p>対向車接近表示システムの設置 18 5路線 22 推進</p>	<p>中山間地域の県道で大型車との対抗が困難な未改良区間において昨年度に引き続き1路線1箇所で、対向車接近表示システムの整備を進めた。 対向車接近表示システムの設置 大利辻線(三好市池田町大利) 21 1路線(1箇所) 累計6路線12箇所</p>
<p>剣山アクセスルートの整備やその周辺の魅力を活かす施設(展望施設・観光案内標識等)の整備などを推進します。</p>	<p>剣山アクセス道路の整備を進めた。 三好市では、外国人観光客の周遊利便性の向上を図るため、外国語案内看板を設置した。</p> <p>東みよし町では、町営バス停留所にベンチを順次設置し、バス利用者の利便性向上を図った。</p>
<p>生活に必要なバス路線などの維持のため地域公共交通会議の設置について市町を支援します。</p>	<p>引き続き、地域公共交通会議の運営について支援を行った。</p> <p>美馬市地域公共会議では、地域における需要に応じた住民の生活に必要なバス等の旅客輸送の確保その他旅客の利便の増進を図り地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を協議した。 美馬市木屋平では、「NPO法人こやだいら」が交通手段がない人を助ける有償送迎を実施した。</p>

つるぎ町では、5月に地域公共交通会議を設置し、9月から町内6地区の山間集落でコミュニティーバスの試験運行を実施した。
運行日数75日 延べ利用者276名(12月末現在)

(2) 観光交流の推進

施策・数値目標	平成21年度の進捗状況
<p>広域連携や積極的な情報発信など総合的な取り組みにより全国的な誘客活動を推進します。</p> <p>圏域内観光入込客数 ¹⁷257万人 ²²430万人 県・市町等によるにぎわい情報発信の検討 ¹⁹プロジェクトチームの設置 「にし阿波おすすめ観光ガイド」の発行 地域資源発信フォーラムの開催 ²⁰開催</p>	<p>「剣山観光メッセージ」を踏まえ市町等と連携して、西部圏域を一体的にPRするツール制作、合同キャンペーン等を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「にし阿波おすすめ観光ガイド」の発行 3回(21年夏季、秋冬季、22年春季) ・広域合同観光キャンペーンの実施 4月17日 神戸市さんちかタウン 9月26～27日 とくしまINAKA博 3月6～7日 大阪アウトドアフェスティバル <p>圏域内観光入込客数 259万人 (21年度実績は22年9月頃判明)</p> <p>地域間の連携により滞在期間の延長を図る「観光圏整備事業」について、民間事業者・市町・県等が連携して取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「にし阿波観光圏協議会」の総会、幹事会、部会の開催 5月14日 第1回幹事会 2月上中旬 第2回幹事会、総会 インバウンド対策部会、キャンペーン部会、企画評価部会、PR検討部会を適宜開催。 <p>大都市圏におけるキャンペーン等を実施し、「にし阿波観光圏」を情報発信した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「トラベルマート」出展 5月28～29日 ・「旅フェア」出展 5月29～31日 ・「TIC東京」出展 6月1日～3月31日 ・「羽田空港における観光プロモーション」 6月10～12日 ・「東京都庁及びTICキャンペーン」 9月8～10日 <p>「にぎわい交流情報発信プロジェクトチーム」を発展的に改組し、「にし阿波観光圏協議会PR検討部会」において、「官民一体となった観光情報の効率的な受発信」について引き続き検討を行った。</p> <p>美馬市では総合観光パンフレット「あおいろ紀行」の改訂・増刷、写真と映像ソフトDVDを作成した。また町並みボランティアガイ</p>

ドが一般個人客も対象にガイドを行った。

三好市では、にし阿波観光圏整備事業の中で、国内外の観光客誘客の拡大を目指して、海外エージェントとの商談会や海外向け旅行商品の造成と旅行パンフレットへの掲載により海外発信に取組み外国人観光客の誘客に努めると共に、外国語案内看板の整備により外国人観光客の周遊性を高めた。また、地域の観光資源の魅力を活かしたモニターツアーの実施やプログラム開発、地元の伝統芸能を活用したイベントの開催などに取組み観光交流人口の拡大を図った。

つるぎ町では、にし阿波観光圏協議会や美馬地区広域行政組合とともに県内外での各種イベントや物産展に参加し、地域の観光資源や特産品をPRした。

東みよし町では、財政分析等に取り組んでいる徳島大学の学生が、インターネットブログ「東みよしの説明書」を開設しており、本年度も引き続き町の名所や特産品の情報を発信した。また、地元阿波おどり連の県外公演時に、同会場にて踊り子と共に、にし阿波の観光案内や特産品販売など、観光キャンペーンを行った。

「飛騨伝統芸能まつり2009」出展 3月14日～15日

「はいやくまもと2009」出展 7月19日～20日

「第10回まるがめ娑婆羅まつり」出展 8月23日

メディア等取材の招致、地域特産品と観光業者のマッチング商談会を実施し、「にし阿波観光圏」の情報発信、魅力向上を図った。

・「観光土産品マッチング商談会」 6月30日

・「にし阿波観光圏プレスツアー」 1月21～22日

県西部全域を案内できる人材を養成するため、「にし阿波観光案内人養成講座」を開催し、おもてなし意識の向上を図った。

・「にし阿波観光案内人養成講座」 2月10日

市町や関係団体と連携協力し、徳島自動車道吉野川SA等でのパンフレット類の配布や都市部でのパンフレット類によるPRに努めた。

美馬市では、美馬地区広域行政組合ならびににし阿波観光圏協議会と連携し、都市部において効果的なPRを実施した。

東みよし町では、徳島自動車道を降りずに無料で観られる吉野川ハイウェイオアシスの「阿波おどり」を売りとした周辺観光の映像D

官民一体となった「にし阿波観光圏」のPRや観光案内の向上などの取り組みによる観光客の来訪滞在を促進します。

高速道路新料金を契機にした入り込み客増を図るため、県外入り込み客数倍増を挑戦目標に、市町や関係団体と連携協力し、都市部や高速道路サービスエリア等においてパンフレット類の配布等圏域の魅力をPRします。

都市部や高速道路サービスエリア等での圏域のPR 21 実施

地域資源を活かした体験型観光を推進するとともに、着地型観光、産業観光などの検討を進めます。

体験型教育旅行における協議会受入泊数（累計）

18 0泊 22 5, 0 0 0泊

グリーン・ツーリズム インストラクター数（累計）

18 7人 22 9人

四国三郎の郷などのスポーツ・レクリエーション施設を活用したイベントの開催やスポーツ合宿の誘致を進めます。

V Dを作成し、オアシス内大型モニターやHP等で放送した。体験型教育旅行の誘致を推進する「そらの郷山里物語協議会」の取り組みを支援するとともに、西部圏域における体験型観光の気運向上を図った。

・協議会受入泊数 平成21年度2, 8 8 8泊

累計3, 8 6 5泊

・協議会に東みよし町が加入。

美馬市では、美馬市観光協会と連携し四国三郎吉野川など四国のまほろば美馬市体験ツアーを実施した。

三好市では、そらの郷山里物語協議会において、近隣市町と連携を図り、農家民泊を中心とする体験型観光を推進するため、受入れ家庭の加入促進と体験メニューの発掘を積極的に行った。

つるぎ町では、「つるぎクラブ」を母体に地域観光資源を活かした体験型観光ツアーを16回開催し、延べ271名の参加があった。また、平成22年5月29～30日につるぎ町で開催される全国巨木フォーラムに向け、実行委員会と企画委員会を開催した。

東みよし町では、平成20年度に整備した旧増川小学校の跡地を利用した農山村体験施設、いやしの里「増川笑楽耕」において、地元住民グループ「増川の活性化を考える会」によるそば打ち体験、田植え、稲刈り等の農山村体験プログラムを計画し体験希望者の受け入れを進めた。また4月に「そらの郷山里物語協議会」に加入し、広域的な観点による地域特有の体験メニューの発掘・開発を進めると共に民泊受入等についての人材育成を行った。

市町、広域行政機構と連携しスポーツ・レクリエーション施設などの周知を図った。

美馬市では、西部圏域の市町と連携して平成22年度に開催されるパラグライダーアジア選手権に向け、支援するとともにアウトドアフェスタの合同開催に向け取り組んでいる。また、美馬市水辺の楽校を開校し、オープニングイベントをNPOやスポーツクラブなど地域住民と協働で開催するとともに、施設の有効活用を図るため、広場や親水公園の整備などを行った。

三好市では、昨年度から吉野川運動公園池田球場で、甲子園で何度も優勝を導いた故郷文也氏の偉業を讃え、実施している郷文也杯選

抜野球大会を継続実施した。また、四国・九州アイランドリーグ公式戦の誘致を行い、年2回の開催を実施。更に、各種スポーツ教室を市内全域で実施した。また、スポーツ誘致と共に安全安心に利用できるよう施設改修と施設整備の充実を行った。

つるぎ町では、吉野川河川敷公園「貞光ゆうゆうパーク」において「ミスノパークゴルフ大会 in 貞光」を開催した。
5月24日 200名(6府県から参加)
また、公園内に水洗式トイレ6基を設置し、施設のイメージアップを図った。

東みよし町では、シルバーウィーク(9月19日から23日)に吉野川ハイウェイオアシスにおいて、阿波踊り公演・地元特産品販売のほか子供向けキャラクターイベントを開催した。

イベントの開催、スポーツ合宿の誘致件数
18 29件 22 32件

イベントの開催、スポーツ合宿の誘致件数 21 38件

おもてなしの意識の向上と国内外からの観光客の受け入れ態勢の整備を市町等と連携し推進します。また、引き続き「にし阿波観光案内人養成講座」を開催し、案内人の養成とスキルアップを実施します。

県西部全域を案内できる人材を養成するため、「にし阿波観光案内人養成講座」を開催し、おもてなし意識の向上を図った。(再掲)
・「にし阿波観光案内人養成講座」 2月10日

にぎわい交流人材育成研修の開催 19 開催・継続
にし阿波観光案内人のスキルアップ 20 実施・継続

美馬市では脇町うだつの町並みボランティアガイドならびに寺町案内人のスキルアップ活動を展開した。また、剣山登山バスでのガイド活動を実施した。

三好市では、平家落人伝説、唐歌姫伝説、妖怪伝説などの地域に残る伝説や池田町「うだつの町並み」などの歴史文化を案内する人材の育成を行った。

つるぎ町では、地域づくりアドバイザーによる研修会を2回開催し、観光ツアーの案内人「つるぎの達人」のスキルアップを図った。

東みよし町では、JR四国アーキテクツより講師を招いて、官民ともに地域活性化に向けた観光客の受入態勢を学ぶ。

住民と行政が協働で道路景観の向上を図り、地域の歴史・文化や自然を活かした地域づくりを支援する「とくしま風景街道」の取り組みを推進します。

美馬市では「美馬市まほろば夢街道」、三好市では「三好市秘境口マン街道」として「とくしま風景街道」のルート登録がなされ、地域内外との交流・連携を推進した。

「とくしま風景街道」ルート数
- 22 2ルート

「とくしま風景街道」ルート数
21 2ルート

	<p>風景街道沿線の清掃、草刈などの美化活動を定期的に行い、広葉樹などの植樹とともに人工林の間伐を推進した。</p> <p>美馬市では、風景街道として登録された「美馬市まほろば夢街道」のマップ・パンフレットづくりを行い、地域内外へのPRなどを行いながら、交流・連携した地域づくりを行った。</p> <p>三好市では、地域資源の保全を推進し、豊かな自然環境と歴史的資源の継承を図り、自然景観や癒しの空間をイメージした街道づくりに努めた。</p>
--	---

(3) 団塊の世代をはじめとする都市住民の交流・定住の推進

施策・数値目標	平成21年度の進捗状況
<p>グリーン・ツーリズム等の体験交流施設や体験メニューの情報発信を行います。 グリーン・ツーリズムインストラクター数(累計)(再掲) 187人 229人</p>	<p>グリーン・ツーリズムインストラクター数 210人 累計7人</p> <p>美馬市では、近畿在住の美馬市出身者らで組織する「ふるさと会」の会員に対し、美馬市体験交流パンフレットなどのふるさと情報を送付し交流の促進を図った。</p> <p>三好市では、田舎暮らし体験プログラムや交流情報などの総合受付フォームサイトを構築し、情報提供を行った。</p>
<p>空き家や廃校などの地域ストックの有効活用の検討を進めます。 空き家情報をHP等で発信する市町数 192市町 223市町</p>	<p>美馬市では空き家情報を提供し、地域の活性化に努めた。</p> <p>三好市では、空家情報や分譲情報などを提供するための定住交流支援サイトを作成中である。</p>
<p>移住・交流者の総合的な支援を行う組織・体制の整備を推進します。 移住交流支援センターの設置地域数 180地域 223地域 県・市町等による移住・交流推進の検討 移住・交流推進連絡会の設置 20設置 とくしま政策研究センターと連携した調査研究 21実施</p>	<p>つるぎ町では、町HPや情報誌で空き家・空き農地の情報を発信し、地域の活性化を図った。問い合わせ15件、現地案内3件</p> <p>美馬市、三好市では移住交流支援センターで、つるぎ町、東みよし町では相談窓口において移住等の相談を行った。 移住交流支援センターの設置地域数 212地域</p> <p>三好市では、近畿地区の三好支出身者で組織する「近畿三好ふるさと連合会」が設立し、三好市出身者の親睦と交流を図るとともに、市の活性化を支援する組織体制が整備された。また、交流・住む・応援・働くなど移住交流WEBサイトを作成中である。</p> <p>美馬市では、都市部の大学生を受け入れ、農林業などの体験や地域住民との交流を行う地域づくりインターン事業を実施し、地域活性</p>

化策などに役立てた。また、関西在住の市出身者を招いてふるさとの魅力を体験してもらう「ふるさと体験交流」を行い、地域住民で組織する移住促進協議会や地域定住アドバイザーなど市民との交流を図った。

東みよし町では、廃校になった増川小学校の跡地を活用し、農山村体験施設いやしの里「増川笑楽耕」を整備。平成21年度から地元住民グループ「増川の活性化を考える会」が農山村体験プログラムを計画し、体験希望者を受け入れた。

地域支援センター「交流移住プロジェクト」において、とくしま政策研究センターと連携した調査研究を行い、モデルパンフレットを作成した。

3 情報通信基盤整備の促進と圏域からの情報発信 ～ 情報通信が暮らしにとけこみ広がる西部 ～

(1) 情報通信基盤整備の推進

施策・数値目標	平成21年度の進捗状況
<p>ブロードバンド環境を享受できるよう光ファイバなどの高度情報通信基盤の整備を進めます。</p>	<p>美馬市では、地域情報化基盤（加入者系光ファイバー網・音声告知放送システム）の整備が完了し、民間放送事業者によるCATVサービスや高速インターネットサービスを全市域で開始された。平成21年度は、情報基盤の有効利用を拡充するため、市内無料電話システムを整備したほか、独居高齢者を対象とした緊急通報サービスである「見守りシステム」の提供も開始した。さらにはICT活用による健康管理システムなどの構築も予定している。</p> <p>三好市では、情報通信基盤（ケーブルテレビ網）の整備が完了し市内全域で高速インターネット、多チャンネル放送、IP電話のいわゆるトリプルプレーサービスに加えIP告知放送等のサービスが開始された。今年度以降は、情報通信基盤の有効利用を拡充するため、ICTによる地域医療・福祉サービスの提供に向けて調査研究を開始すると共に、総務省の委託事業として緊急通信サービスを携帯電話で行う「ふるさとケータイ事業」を行った。</p> <p>つるぎ町では、町が整備した光ファイバー網と民間共聴組合のCATV網の接続を支援することにより、地デジ放送に向けた対策を促進するとともに加入者系光ファイバー網の整備にも着手した。</p>

<p>CATVサービス提供市町数 ¹⁸ 2市町 ²² 4市町</p> <p>県・市町・民間団体等によるプロジェクトチームを設置し高度情報通信技術を活かす取り組みを検討します。 プロジェクトチームの設置 ¹⁹ 設置</p>	<p>東みよし町では、全町に加入者系光ファイバー網を構築し、平成22年度からCATVサービス等が提供できる環境を整備する。</p> <p>CATVサービス提供市町数 ²¹ 3市町</p> <p>「徳島県西部地域支援センター」の「ブロードバンドプロジェクト」において、県・市町等担当者による調査研究を行った。</p>
---	--

(2) 圏域の情報発信

施策・数値目標	平成21年度の進捗状況
<p>ICTを活用した圏域の情報発信を行います。 県・市町等によるにぎわい情報発信の検討（再掲） ¹⁹ プロジェクトチームの設置</p> <p>道路情報案内板等からの情報発信を進めます。</p> <p>イベント情報等を表示した道路情報板（再掲） ¹⁸ 0箇所 ²² 14箇所</p>	<p>「にぎわい交流情報発信プロジェクトチーム」を発展的に改組し、「にし阿波観光圏協議会PR検討部会」において、「官民一体となった観光情報の効率的な受発信」について引き続き検討を行った。徳島県管理の道路情報板により、本来の通行規制情報に加え観光情報やイベント情報を表示し情報の発信に努めた。 イベント情報等を表示した道路情報板数 ²¹ 15箇所（9路線）</p> <p>つるぎ町では、道の駅貞光ゆうゆう館でマルチビジョンによる観光・道路情報を提供した。</p> <p>東みよし町では、吉野川ハイウェイオアシス内の観光情報ステーションにおいて、整備した大型モニター・お客様用開放パソコン・ステージ前ライブカメラにより観光情報やイベント情報等を来客者に提供した。</p>
<p>身近な施設や地域のCATVなどと連携した行政情報の提供やイベントの広報など地域に密着した情報発信に取り組みます。</p>	<p>三好市では、引き続き「へそっこニュース」を中心に自主放送番組を制作し、徳島県ケーブルテレビネットワーク機構、四国CATVネットワーク及び四国まんなかネットを通じ地域情報の提供に努めると共に、三好市HP上に「へそっこニュース」を配信し、三好市の情報を積極的に発信した。また、剣山頂上付近にWebカメラを設置し、剣山頂上の眺望をインターネット上で配信を開始した。</p>
<p>高速道路新料金を契機にした入り込み客増を図るため、県外入り込み客数倍増を挑戦目標に、市町や関係団体と連携協力し、都市部や高速道路サービスエリア等においてパンフレット類の配布等圏域の魅力をPRします。 都市部や高速道路サービスエリア等での圏域のPR（再掲） ²¹ 実施</p>	<p>市町や関係団体と連携協力し、徳島自動車道吉野川SA等でのパンフレット類の配布や都市部でのパンフレット類によるPRに努めた。</p> <p>美馬市では、美馬地区広域行政組合ならびににし阿波観光圏協議会と連携し、都市部において効果的なPRを実施した。</p>

東みよし町では、徳島自動車道を降りずに無料で観られる吉野川ハイウェイオアシスの「阿波おどり」を売りとした周辺観光の映像DVDを作成し、オアシス内大型モニターやHP等で放送した。

4 健康で安全・安心に暮らせる環境づくり ～ 健やかで心豊かな暮らしができる西部 ～

(1) 防災対策

施策・数値目標	平成21年度の進捗状況
<p>防災フォーラムや寄り合い防災講座の開催など防災意識の向上と防災力の充実強化を図ります。 寄り合い防災講座の開催 18 29回 年40回 自主防災組織率 18 49.7% 22 100%</p>	<p>地域の防災力向上を図るため、住民に対し寄り合い防災講座を開催した。1月末までに24回実施。今年度は、新型インフルエンザ流行により集会を自粛し、申込み後に中止が3件あった。</p> <p>各市町が自主防災組織率の目標値を決め、計画的取り組みができるよう支援するため、11月に2市2町を巡回し、現状把握及び今後の取り組み支援等について確認した。11月末現在の圏域平均組織率は78.8%である。</p> <p>美馬市では、95.6%と組織率が高く、未結成地区の団地等の組織結成に向けて取り組んだ。</p> <p>三好市では、本年度、23地域において自主防災組織を結成、現在、市内184地域が結成し、組織率74.2%となった。</p> <p>つるぎ町では、町内24地域で自主防災組織を結成予定で、現在21地域が結成、組織率80.1%となった。</p> <p>東みよし町では、未結成の自治会で説明会を開催し、新たに4地区が結成した。</p>
<p>孤立化対策研修会、ワークショップなどを開催するとともに、成果を基にした孤立化対策の手引き書の作成・普及啓発により、地域防災力の強化を図ります。 孤立化対策研修会等の開催 20 開催 孤立化地域対応普及啓発冊子の作成 20 作成・推進</p>	<p>平成20年度に作成した「孤立化対策啓発冊子」を活用し、圏域内の孤立可能性のある地区に孤立化対策の知識等を普及するため、三好市東祖谷地区、西祖谷地区において、三好市と共催で住民等を対象とした孤立化対策講演会1回(6/30、117名参加)、ワークショップ3回(8/22、10/10、11/25 延150名参加)、孤立を想定した防災訓練1回(11/25、134名参加)を実施し、地域防災力の強化を図った。</p> <p>その他、孤立可能性のある地区の寄り合い防災講座(3回、100名参加)で普及啓発を行った。</p> <p>また、防災フォーラムを1月24日に開催(108名参加)し、災</p>

次代を担う小・中学生等の防災意識の高揚を図ります。
若い世代の防災サポーターの手引き作成・推進
19 作成 20 推進

中山間地域の小学校における防災学習の支援 21 実施

災害に即応できる体制を整えるため、防災関係機関や住民との連携強化を推進します。

西部防災対策連絡会議・部会の開催 (年2回) 22 8回 (累計)
防災訓練(図上訓練を含む)実施回数(年2回) 22 8回 (累計)

土砂災害(土石流・地すべりなど)による被害から生命を守るため必要な対策を推進します。

異常気象時における主要基幹道路である一般国道32号の事前通行規制区間の解消に向けた整備や、大規模災害における集落の孤立防止のための道路の整備を促進します。

一般国道32号猪ノ鼻道路(延長8.4km)の整備(再掲)

17 調査中 22 工事施工中

一般国道32号改築防災(大歩危工区延長2.5km)の整備

害で孤立した際の住民による情報通信のあり方について考えることにより地域防災力の強化を図った。

平成19年度に作成した「若い世代の防災サポーターの手引き」を活用し、小中学校における防災学習を実施した。
また、各小中学校が行う防災学習で、「若い世代の防災サポーターの手引き」を活用してもらえよう、7月に各学校に対し文書で依頼した。

中山間地域の小学校における防災学習の支援 21 実施(2校)

・山城小学校 平成21年7月8日(知識学習)
平成21年10月22日(現地学習)
・半田中学校 平成21年12月2日(知識・現地学習)

つるぎ町では、防災スクールモデル事業を活用し、町内の小学校2校で防災訓練を実施し、防災知識の向上を図った。

三好市佐野小学校の児童が、県民局から土砂災害などについて学んだ成果を盛り込み作成した防災マップが、「ぼうさい探検隊マップコンクール」で防災担当大臣賞を受賞した。(同校の入賞は2年連続)

防災関係機関と連携し、西部圏域の防災課題を検討するために、西部防災対策連絡会議を3月8日に開催(予定)するとともに、実務者によるワーキング部会を12月21日(17名出席)と1月24日に開催(16名出席)した。

また、県民局職員の災害即応体制の強化のため、非常参集等訓練を11月5日に実施、図上訓練を2月26日に実施予定。

さらに、県内3圏域持ち回りで実施している「徳島県総合防災訓練」を西部圏域で実施した。

日時：平成21年9月1日(火)防災の日

場所：主会場 美馬市河畔ふれあい広場

分会场 4市町それぞれで実施

通常砂防事業や地すべり対策事業、急傾斜地崩壊対策事業等により土砂災害を防止するための施設整備を進めた。

62箇所(補助事業45箇所、県単事業3箇所、県補助金14箇所)災害復旧事業は除く。

一般国道32号猪ノ鼻道路(直轄)の整備が促進された。

一般国道32号猪ノ鼻道路(延長8.4km)の整備

21 用地交渉・工事の促進

一般国道32号改築防災(延長2.5km)の整備

<p>17 調査中 22 工事施工中 孤立防止のための道路危険箇所の整備 災害時の迂回路・避難路の整備</p> <p>洪水等による被災から生命・財産を守るために、築堤や護岸、内水対策など必要な河川の整備を推進します。</p> <p>木造住宅の耐震診断・改修を支援します。</p>	<p>21 用地交渉の促進 道路災害防除事業や緊急地方道路整備事業により一般国道439号他11箇所において道路危険箇所の整備を進めた。</p> <p>山地治山事業や地すべり防止事業等により、山地災害の防止を図るための施設整備(35箇所)を行った。</p> <p>国の直轄事業により吉野川無堤地区における築堤工事(加茂第一箇所、芝生箇所)が進められた。</p> <p>県の治水利水両面の対策として、柴川谷川で計画している柴川生活貯水池建設のための付け替え道路(市道)等の整備を進めた。</p> <p>県単独事業の河川特殊改良事業で、加茂谷川他3河川で護岸の整備を行い、洪水等による被害軽減に向けて努めた。</p> <p>徳島県木造住宅耐震化促進事業により、昭和56年以前の耐震性の低い木造住宅に対して耐震診断(木造住宅耐震診断支援事業)や耐震改修(木造住宅耐震改修事業)の支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木造住宅の耐震診断 21 148棟(H17~21累計 419棟) ・木造住宅の耐震改修 21 2棟(H17~21累計 18棟)
--	--

(2) 健康づくり

施策・数値目標	平成21年度の進捗状況						
<p>糖尿病予防啓発講演会の開催など健康づくりの意識啓発を行います。</p> <p>圏域における糖尿病標準化死亡比の改善</p> <table border="0"> <tr> <td>西部 I</td> <td>15 - 17 168</td> <td>22 改善</td> </tr> <tr> <td>西部</td> <td>15 - 17 111</td> <td>22 改善</td> </tr> </table> <p>糖尿病予防啓発講演会の開催(年2回以上) 22 12回(累計)</p>	西部 I	15 - 17 168	22 改善	西部	15 - 17 111	22 改善	<p>糖尿病予防啓発講演会の開催など健康づくりの意識啓発を行った。</p> <p>圏域における糖尿病標準化死亡比の改善 西部 - 西部 - (22年4月頃確定予定)</p> <p>医師会等と連携し、糖尿病の地域医療連携クリスティカルパス(かかりつけ医と糖尿病専門医療機関との連携体制を推進)を活用したハイリスク者の医療機関の受診促進、治療継続を促し重症化・合併症の減少を図った。</p> <p>糖尿病地域医療連携システム検討会の開催 4回予定 11月4日, 11月18日, 3月開催(2回)予定</p> <p>食生活や運動習慣等の生活習慣の改善等、注意を喚起して健康づくりへの意識を高めた。</p> <p>糖尿病フォーラム・講演会の開催 4回予定 7月24日 参加者58人, 11月11日 参加者37人 12月2日 参加者255人, 2月開催予定 糖尿病予防啓発講演会の開催 21 4回 累計12回</p>
西部 I	15 - 17 168	22 改善					
西部	15 - 17 111	22 改善					

<p>食育の推進に関する会議等の開催(年2回以上) 22 10回(累計)</p>	<p>市町、関係機関、関係団体と連携し、食育推進のための体制整備に努めた。 食育推進会議の開催 4回予定 食育の推進に関する会議等の開催 21 4回 累計12回</p>
<p>健康づくり教育講座の実施回数(年100回) 22 400回(累計)</p>	<p>あらゆるライフステージに食生活や運動習慣、睡眠、休養、たばこやアルコールなどの生活習慣の改善等につき注意を喚起し、健康づくりへの意識を高めた。</p> <p>健康づくり教育講座の開催 83回 (食生活12回、睡眠9回、たばこ20回、歯科20回、運動2回、休養・ストレス9回、アルコール10回、その他の生活習慣1回) 健康づくり教育講座の実施回数 21 83回 累計339回</p>
	<p>世界糖尿病デーにおける啓発活動として街頭キャンペーン・パネル展示等を実施した。</p> <p>美馬市では「健康みま21」の推進として、生活習慣病の発症・重症化予防に向けた取り組みを行い、若い世代からの健診受診勧奨を重点的に推進していく。受診率向上に向けて、健診受診強化週間を設け、集団・個別への普及啓発を展開した。 また、食育推進活動として、食生活改善推進員が中心となった食育講座を幼稚園・小学校で実施した。 ・健康みま21に関する講座の回数 27回 ・各種団体・個人へのポスターの配付・訪問活動 ・食育に関する講座の開催 8回 ・食生活改善推進員活動</p> <p>三好市では、特定健診実施結果に基づき糖尿病境界型及び糖尿病が疑われる者に精密検査(耐糖能精密検査)の受診勧奨を行うとともに、特定健診未受診者に対し啓発活動の健康教室開催や各種団体等への健診と生活習慣病予防説明会を開催した。</p> <p>つるぎ町では、糖尿病等予防のため、生活習慣改善教室や健康づくり講座を開催し、住民の健康づくりを推進した。 ヘルシーアップ教室 7回 ウォーキング教室 4回 健康づくり講座 5回 でまえ健康相談 7回</p>

特定健診等

9回

東みよし町では、昨年度に引き続き、健康診査の受診を勧奨し、糖尿病等の生活習慣病の発症・重症化予防に向けた取り組みを行った。

・健康教育(15回)健康相談(24回)家庭訪問指導(50人)
また、特定健診・特定保健指導についても、昨年度実績の分析、評価に基づき、未受診対策・効果的な情報提供や保健指導内容にも検討を加え、参加しやすい体制づくりを検討した。

地域の関係機関、団体、企業等で構成される任意団体「美馬・つるぎ糖尿病対策をすすめる会」の取り組みに参画し、地域住民自らの取り組みや行政、関係機関・団体等による健康づくりのための環境整備を中心とした取り組み等を発表するなど住民への意識啓発を図った。

糖尿病フォーラム開催

12月2日開催(祥雲閣) 参加者255人

糖尿病フォーラムの開催(年1回) 21回 累計2回

美馬・つるぎ糖尿病対策をすすめる会の会議 3回開催

第1回 7月23日開催

糖尿病フォーラムについて他

第2回 10月8日開催

糖尿病フォーラムについて他

第3回 2月23日開催

支援計画について

集団給食施設協議会や地域の関係機関と連携し、「食育でみんなイキイキ元気な地域づくり事業」(協働推進モデル創出事業)等の実施を通して、住民が食習慣の改善に取り組みやすい環境を整えた。

・食を通じた健康づくりネットワーク会議(食育推進会議の再掲)の開催 1回(2月予定)

・イキイキ新聞の発行 1回300部予定

・食育教室の開催 3回

・子どもが喜ぶ和食メニュー作成・配布 3,000部

栄養教諭等との連携により学校給食等における地場産物の活用を推進した。

学校給食における地産地消推進市町数(再掲) 21市町

食生活改善推進員により、生活習慣病の予防活動とともに、食に関する知識と健全な食生活を実践する力を持った人を育てる食育活動

糖尿病ワースト1脱却継続のため、地域の団体と協働し、糖尿病フォーラムなどの事業を実施します。

糖尿病フォーラムの開催(年1回) 223回(累計)

関係機関や団体と連携し、食育の推進を図るとともに、住民が食習慣改善に取り組みやすい環境を整備します。

食育の推進や阿波踊り体操の普及、次代を担う子ども達や関係機関、NPO等と連携した喫煙対策など健康づくりのサポート体制を充実します。

学校給食の地産地消推進市町数(再掲)

18市町

20市町

食生活改善推進員の活動（伝達講習会）の推進（4カ年累計）
22 5,800回 30,000人

集団給食施設協議会等と協働した食育事業の実施回数
（年12回）22 48回（累計）

健康とくしま応援団のうち
ヘルシーメニュー提供店への登録数（累計）
18 6事業所 22 15事業所
たばこ対策取り組みの登録事業所数（累計）
21 21事業所 22 60事業所

「阿波踊り体操」の普及事業所数（累計）
18 0事業所 22 40事業所

年齢や体力にかかわらず楽しめる生涯スポーツの取り組みを推進
します。

を地域で推進した。
食生活改善推進員の活動の推進
平成21年度実績集計は平成22年3月末予定

集団給食施設協議会等と協働した食育推進事業の実施回数
21 6回 累計34回
たばこ対策取り組み事業所に関しては、禁煙宣言ステッカーも併せて
交付した。
「おいしい空気で、健康のおもてなし、にし阿波」推進事業を実施
し、地域の喫煙対策を推進した。（とくしま“トクトク”事業）
・「ちびっ子禁煙サポーター」の育成
・出前禁煙・防煙教育の実施
17回開催 参加者748人
・高校文化祭での啓発ポスター展示及びたばこ相談
3回開催
・公共機関等及び飲食店等の禁煙・分煙状況の実態調査の実施
・地域への啓発活動の実施
世界禁煙デーに係る普及啓発活動（街頭キャンペーン、パネル
展示等）

健康とくしま応援団のうち
・ヘルシーメニュー提供店の登録数
21 0事業所 累計13事業所
・たばこ対策の取り組みの登録事業所数
21 28事業所 累計77事業所

阿波踊り体操を市町や関係組織等と協働して推進した。
「阿波踊り体操」の普及事業所
21 12事業所 累計48事業所

美馬市では、「いつでも・どこでも・だれもが・いつまでも」をス
ローガンに旧町村単位で総合スポーツクラブ（5団体）を設立して
おり、地域に密着したスポーツ活動の場として生涯スポーツの取組
みを推進した。そして、コーディネーション指導者等の資格取得を
推進し、指導者のスキルアップを図るとともに、チャレンジウィーク
では体力測定を実施し、年齢・体力に応じた指導を実施した。

三好市では、地域総合型スポーツクラブ「いけだスポーツクラブ」
が設置され、市内全域から年間を通して「いつでも」「だれでも」「ど
こでも」参加して運動ができるよう実施されており、いけだスポー

ツクラブが中心となり、今年度から旧町村単位で地域総合型スポーツクラブの設置を図った。また、市民一丸となって取り組んでいるチャレンジデーの実施を行い、年齢や体力に合わせた年間を通しての健康意識を高め、生涯スポーツの定着を図った。

つるぎ町では、生涯スポーツを推進するため、町体育協会主催の各種スポーツ大会や町民体育祭等を開催するとともにパターゴルフ・カローリングなど幅広い世代が楽しめるスポーツの定着を図った。

東みよし町では、総合型地域スポーツクラブ設立に向けての生涯スポーツの取り組みを推進するとともに年齢や体力にかかわらず地域の住民が主体的に「誰でも」「いつでも」「世代間を超え」「好きなレベル」でスポーツを楽しめるよう教室等を開催した。

- ・やまももクラブ 毎週日曜日 各種スポーツ
- ・ジュニア陸上教室 毎週月曜日、土曜日 陸上の基本動作
- ・太極拳教室 月2回第2、第4土曜日

美馬市では、本年度休校予定の小学校が3校あり、今後地域住民と施設利用について検討を行うこととしている。

三好市では、廃校となった地域において、遊休地の活用等について集落調査により聞き取り調査を実施した。

影野小学校、小祖谷小学校、下野呂内小学校、河内小栗山分校、大野小佐連分校、井内小野住分校、池田第一中学校、大野中学校

つるぎ町では、休校により遊休化している学校施設（体育館・屋外運動場）で地域の世代間交流運動会の開催やカローリングの競技場として活用した。

運動会（紙屋小・日浦小）

カローリング（日浦小・高清小・皆瀬小）

東みよし町では、廃校になった増川小学校の跡地を活用し、農山村体験施設「いやしの里「増川笑楽耕」を整備。平成21年度から地元住民グループ「増川の活性化を考える会」が農山村体験プログラムを計画し、体験希望者の受け入れを開始した。

市町等健康危機に関わる関係者と連携して、健康危機管理研修会等を開催し、健康危機対策の推進に取り組んだ。

健康危機管理研修会 11月19日開催 参加者46人

健康危機管理研修会の開催 21回 累計4回

市町と連携し廃校となった学校等の遊休地を活用した運動広場などの環境づくりを検討します。

健康危機管理研修会の開催など健康危機対策を充実強化します。

健康危機管理研修会の開催（年1回）²²4回（累計）
結核の二次感染予防対策の充実

<p>自殺予防講演会の開催などこころの健康対策を充実強化します。</p> <p>自殺予防講演会の開催（年2回）²² 8回（累計） 関係機関との連携による相談体制の強化</p> <p>子どもの生活習慣と心の健康について、健康課題を提言するとともに、事業企画提案や健康教育を通じて、次世代を担う子どものよりよい生活習慣の形成を育み、心身の健康増進を推進します。</p>	<p>結核患者の発生届けに基づいての迅速な対応とともに、結核患者の直接服薬管理、接触者健診の徹底を図った。 美馬保健所感染症情報(ホームページ掲載)により発生状況・予防策等の情報提供をした。 地域自殺対策緊急強化事業(H21~H23)の実施により、自殺予防の意識啓発や各関係者のネットワークの構築を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自殺予防の普及啓発講演会の開催（2回） <ul style="list-style-type: none"> 9月30日開催 参加者64人 2月12日開催予定 参加者約50人予定 ・自殺予防に関するリーフレットの配布 随時 自殺予防講演会の開催 ²¹ 2回 累計8回 ・相談支援体制の強化 関係職員スキルアップ研修会 2回開催 参加者(延べ約100人予定) ・傾聴ボランティア養成講座 5回開催 参加者(延べ約100人予定) ・徳島のいのちの電話相談の拡充 社会福祉法人徳島県自殺予防協会「徳島のいのちの電話」 「美馬センター」H16年7月開設 「三好センター」H21年7月開設 同日フォーラム「生きる」in三好が開催された。 <p>生涯を通じた女性の健康支援事業におけるヘルスサポーター育成事業、子育て出前講座又はライフサポート事業を通じて、市町の教育機関等と連携し、子どもの心身の健康づくりを支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣に関する健康教育 4回開催 参加者86人 ・ヘルスサポーター事業の実施 1回開催 参加者11人 ・高校文化祭における啓発活動 3回開催
---	--

(3) 医療・福祉サービス

施策・数値目標	平成21年度の進捗状況
<p>県全体の取り組みを通じて地域医療体制の充実に努めます。</p>	<p>県の公立病院等の再編・ネットワーク化に関する基本指針(平成21年3月)を基に、関係機関と相互理解に努め、連携を図った。</p> <p>圏域の脳卒中対策について、医療福祉関係者と連携し適切な医療・福祉サービスが切れ目なく提供される体制を図る。</p>

ひとり暮らしの高齢者や認知症高齢者が、安心して暮らせるために、支援体制の推進を図ります。
ひとり暮らし高齢者等支援地域ネットワークの構築

認知症サポーター (キャラバン・メイト含む)数 (累計)

18 429人 22 4,000人

介護予防の普及啓発や実践に取り組む介護予防リーダーの養成を推進します。

介護予防リーダーの養成者数(累計)

18 - 22 100人

障害の種別にかかわらずサービス体制の充実や相談支援体制の充実を図るなど障害者の地域での自立を支援します。

指定サービス提供事業所の指定件数 (累計)

18 72事業所 22 90事業所

指定相談支援事業所の指定件数 (累計)

18 10事業所 22 12事業所

指定相談支援事業所への専門的職員配置による機能強化の推進

地域活動支援センター等の日中活動の場の増加による社会参加の促進

ハローワークとの連携による一般就労への雇用促進

グループホーム、ケアホーム、福祉ホーム等の整備の促進

- ・圏域連携会議 3月4日開催予定
- ・医療・保健・福祉従事者合同研修 3月4日開催予定

徳島県地域医療再生計画の対象地域に西部 医療圏が選ばれ、西部地域医療拠点の機能整備に努めることになった。

地域住民と共に関係機関が地域医療を考える機会を提供する。

- ・地域医療を考えるシンポジウム 3月6日開催予定

市町、市町社協を中心に構築中の認知症高齢者支援、高齢者虐待ネットワークの推進に取り組んだ。

キャラバン・メイトが行う認知症サポーター養成講座を支援し、育成を推進した。

認知症サポーター (キャラバン・メイト含む)数 (累計)

21 3,854人

介護予防リーダー養成講座を開催し、育成を推進した。

開催日 9月8日・10日・15日・17日 12月18日・21日・22日・24日

開催場所 美馬庁舎 三好市池田総合体育館

受講者 23人 38人

介護予防リーダーの養成者数 (累計) 21 61人 累計 133人

障害者が地域で必要なサービスを必要なときに受けられるよう相談支援体制とサービス提供体制の充実を図った。

指定サービス提供事業所の指定件数 (累計) 21 102事業所

指定相談支援事業所の指定件数 (累計) 21 10事業所

圏域内すべての市町で、地域の障害福祉に関するシステムづくりについて中核的な役割を果たす協議の場となる地域自立支援協議会が設置開催されるよう支援した。

「西部圏域障害者就労支援ネットワーク」の充実強化を図り、ハローワーク等関係機関との連携により、障害者の雇用促進に向けた取り組みを行った。

- ・ネットワーク会議の開催 平成21年8月24日 三好庁舎

障害者就労支援啓発用DVDを活用して、企業(事業主)に対して出前講座を行い、障害者雇用への理解啓発を図った。

- ・DVD出前講座
平成21年10月22日

	<p>訪問先企業 三好市内事業所（製造業） 美馬市内事業所（製造業）</p> <p>平成21年11月11日 訪問先企業 東みよし町内事業所（製造業）</p> <p>関係機関による、障害者を多数雇用し健常者とともに働いている県内事業所の視察研修を行った。 ・先進地視察研修 平成21年12月11日 研修先 北島町内事業所（製造業） 徳島市内障害者支援施設</p> <p>障害者自立支援協議会を美馬市・つるぎ町合同で平成22年2月に設置。相談支援事業をはじめとするシステムづくりに関し、中核的役割を果たす協議の場とする。</p> <p>三好市では、平成20年度5月より、障害者自立支援協議会定例支援会議を設置し、毎月第2水曜日に定例の支援会議を行った。また、必要に応じて専門部会の開催も行う。</p> <p>つるぎ町では、町内の小規模作業所（1カ所）の機能強化を図った。</p>
<p>高齢者や障害者福祉などに関する地域課題の検討を行うため、保健福祉医療の関係機関で構成する「にし阿波の“福祉のこれから”を語ろう会」（仮称）を設置し、地域に根ざした福祉施策の企画、展開を図っていきます。</p> <p>にし阿波の“福祉のこれから”を語ろう会（仮称）設置²¹設置</p> <p>既存公共施設のユニバーサルデザインの点検評価や公共事業1件に1ユニバーサルデザイン（ワンワン運動）の取り組みなど人にやさしい地域づくりを推進します。</p>	<p>「にし阿波の“福祉のこれから”を語ろう会」を設置するとともに、同会における各委員からの意見、提言等に基づき、地域に根ざした福祉施策の展開を図った。</p> <p>設置年月日 平成21年4月1日 メンバー 16名 （内訳 市町4名 市町社会福祉協議会4名 社会福祉施設2名 医療関係1名 県民局5名）</p> <p>会議内容 第1回（7月17日） 高齢者福祉対策について 第2回（12月9日） 高齢者にかかる地域福祉について 第3回（2月18日開催） にし阿波の“福祉のこれから”を語ろう会設置²¹設置</p> <p>利用者の視点に立った使いやすさを工夫した公共事業の実施に努めた。</p>

(4) 子育て支援

施策・数値目標	平成21年度の進捗状況
<p>地域の子育て機能の強化を進めます。</p> <p>地域子育て支援センター数(累計) <small>18 7カ所 22 14カ所</small></p> <p>ファミリーサポートセンター 事業実施市町数 <small>18 1市町 22 2市町</small></p> <p>延長保育実施施設数(累計) <small>18 5カ所 22 8カ所</small></p>	<p>今年度末の計画策定が予定されている、次世代育成支援対策推進法に基づく市町村後期行動計画の策定に積極的に関わり、地域の実情に即した計画策定に向けて管内市町を支援した。</p> <p>また、地域子育て支援センターやファミリーサポートセンター、延長保育の実施を働きかけた。</p> <p>計画策定協議会への出席 協議会開催日 美馬市：平成21年7月31日・平成21年11月24日 平成21年9月18日 三好市：平成21年7月17日・平成21年10月20日 東みよし町：平成21年10月16日・ 平成21年12月22日</p> <p>県労働雇用政策課と連携して管内市町担当課との協議の場を設け、ファミリーサポートセンターの設置を促進した。</p> <p>地域子育て支援センター数(累計) 21 11カ所</p> <p>ファミリーサポートセンター 事業実施市町数 21 1市町</p> <p>延長保育実施施設数(累計) 21 5カ所</p> <p>県協働推進モデル創出事業に基づき、管内の子育て支援サークルに委託して子育てイベントを開催するなど、積極的な子育て支援活動を展開した。</p> <p>イベント名：子育て支援“つるぎっこ”まつり (平成22年3月6日開催予定)</p> <p>美馬市では子育てマイスター養成事業を行い、新規に24名の子育てマイスターを養成し、子育て支援の充実を図った。 (34名 58名)</p> <p>つるぎ町では、子育てに関するアンケート調査と分析を行い、「次世代育成支援行動計画」の後期計画(H22~26)を策定した。</p>
<p>昼間に保護者が家庭にいない児童に適切な遊びと生活の場を確保し、放課後児童の健全育成を図ります。</p>	<p>放課後児童クラブの未実施地域において、新たな取り組みの促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美馬市 H21年度1カ所増設(H21.4.1) ・三好市 H21年度1カ所増設(H21.4.1)

放課後児童クラブの設置数(累計)

18 14カ所 22 21カ所

放課後子ども教室 実施数(累計)

18 - 22 30カ所

放課後児童クラブの設置数(累計) 21 21カ所

放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用し、子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を確保する「放課後子ども教室」が28箇所で開催された。

放課後子ども教室 実施数(累計) 21 28カ所

美馬市では放課後児童クラブを新規に1カ所開設し、放課後児童の健全育成を図った。(2カ所 3カ所)

三好市では放課後児童クラブを新規に1カ所開設し、放課後児童の健全育成を図った。(11カ所 12カ所)

美馬市では、放課後子ども教室を美馬市管内全小学校17校+4団体(スポーツクラブ)で実施した。(平成21年度 21カ所)

つるぎ町では、子育て応援団「つるぎっこ」が中心となり、毎月1回「子育て応援広場つるぎっこ」を開催し、保護者・乳幼児に交流の場を提供することにより、子育てを支援した。

事業所に対して事業内容を積極的に周知し、協賛店舗数の増を図った。また、子育て家庭に対しても、事業内容を周知し、利用促進を図った。

- ・観光土産品マッチング商談会における広報活動
- ・ひとり親家庭への出張相談時における広報活動
- ・圏域での子育てイベントにおける広報活動

「GO!GO!くっつき隊応援し隊」協賛店舗等(累計) 21 57事業所

仕事と子育てが両立でき、働きやすい職場づくりを進めます。

「GO!GO!くっつき隊応援し隊」協賛店舗等(累計)

18 43事業所 22 60事業所以上

はぐくみ支援企業認証の促進

児童虐待防止セミナーの開催など、関係機関と連携し児童虐待の防止対策を推進します。

関係機関を対象に児童虐待防止セミナーを開催するなど、地域の児童虐待防止対策の推進を図った。

児童虐待防止セミナーの開催

7月28日 東みよし町三加茂庁舎 146名
 11月11日 阿南市商工業振興センター(中央・南部・西部児
 相合同) 100名
 児童虐待防止セミナーの開催(年2回) 21 2回 累計6回

児童虐待防止セミナーの開催(年2回) 22 8回(累計)

圏域市町開催の「要保護児童対策地域協議会」へ支援を行った。

スクールガードなど防犯対策の促進や市町・民間団体・住民と連携した防犯サービスの提供等を検討します。

美馬市では、学校や通学路の子どもの安全を図るため、家庭や地域の団体等と連携を図りながら、地域全体で子どもの安全を見守る体制を構築するため、スクールガードリーダーによる巡回指導を行った。

三好市では、5名のスクールガードリーダーにより、市内小学校に対し巡回指導や安全指導を実施している。さらに、全ての小学校においてスクールガードによる巡回活動等の充実を図った。

つるぎ町では、スクールガードによる巡回パトロールや町職員・老人クラブによる防犯・青色パトロールを児童生徒の下校時間に合わせて実施し、地域児童の安全を確保した。

東みよし町では、町内の小中学校においてスクールガードを実施した。また、ライオンズクラブ・自治会・補導員会・地域の安全を守る会による青色パトカーでの巡回を行い、防犯・犯罪抑止に努めた。

(5) 食の安全・安心

施策・数値目標	平成21年度の進捗状況
<p>「とくしま安²（あんあん）農産物認証制度」などによる安全で安心な農産物の供給を推進します。</p> <p>とくしま安²（あんあん）農産物認証数（累計）（再掲） ¹⁸ 7件 ²² 12件</p> <p>エコファーマー認定者数（累計）（再掲） ¹⁸ 357人 ²² 415人</p> <p>有機JAS認定者数（累計） ¹⁸ 23人 ²² 30人</p>	<p>制度説明や生産品質管理体制の改善により、認証取得を推進し、新たに菌床しいたけ栽培者が認定された。</p> <p>とくしま安²（あんあん）農産物認証数²¹ 1件 累計9件 認定期間が満了する者の再認定を推進するとともに、計画認定申請書作成及び栽培技術講習会を行うなど、エコファーマーの育成支援を行ない、新たにれんこん、ブロッコリー栽培者などが認定を受けた。</p> <p>エコファーマー認定数²¹ 29人 累計453人</p> <p>有機JAS認定者数²¹ 0人 累計23人</p>
<p>家畜防疫衛生対策の徹底により安全・安心な畜産物の供給を推進します。</p> <p>農薬の適正な使用・管理を行う農薬適正使用アドバイザーを育成します。</p> <p>農薬適正使用アドバイザー数（累計）（再掲） ¹⁸ 127人 ²² 150人</p>	<p>家畜伝染病予防法に基づき、立入検査等により、各家畜の検査・調査・指導を行い、飼養衛生管理基準の徹底を図った。</p> <p>講習会でポジティブリスト制度、最新農薬情報等を周知し、新規認定及び再認定により農薬適正使用アドバイザーの育成に努めた。</p> <p>農薬適正使用アドバイザー数²¹ 12人 累計167人</p>

(6) 消費者対策

施策・数値目標	平成21年度の進捗状況
<p>消費者の自立を支援するため消費者、NPO、行政等のネットワーク構築を促進します。</p> <p>くらしのサポーター数のうち、月1回程度は活動する者 182人 2215人</p> <p>メールマガジンへの登録啓発推進や県民センターの充実に努めます。</p> <p>消費者相談センターを設置し、消費相談に関し、専門の相談員による相談活動を推進します。</p> <p>消費者相談センターの設置 21設置</p>	<p>くらしのサポーター研修会を開催し、事業の充実に取り組んだ。 開催日 11月6日 会場 西部総合県民局 美馬庁舎 参加者 6名 くらしのサポーター数のうち、月1回程度は活動する者 215名</p> <p>三好市では、三好市消費者協会の活動に参加し、消費者被害の情報や事例などを交え三好市の消費者行政の現状を報告するなど、消費者の意識の向上と啓発に努めた。また、消費者相談窓口の看板の設置、相談窓口や啓発・啓蒙に必要な機材の整備を図った。</p> <p>県民センターにおいて消費者問題啓発の関係資料による広報、啓発を図った。</p> <p>平成21年7月から毎月2回（美馬、三好各1回）消費生活相談室を設置し、専門の相談員による消費相談を実施した。 また、利用促進を図るため、市町等を通じて広報を行った。</p> <p>消費者相談センターの設置 21設置</p>

5 環境資源の保全と暮らしとの共生 ~ 美しい自然をはぐくむ西部 ~

(1) 水質保全

施策・数値目標	平成21年度の進捗状況
<p>市町が実施する生活排水処理施設の整備を促進します。</p> <p>汚水処理人口普及率の向上 17 28.4% 22 37.3%</p> <p>生活排水処理施設による処理人口（累計） 17 27,846人 22 36,000人</p>	<p>生活排水処理施設の整備を促進した。</p> <p>汚水処理人口普及率の向上 37.6% (21年度実績は、8月頃判明)</p> <p>生活排水処理施設による処理人口（累計） 35,047人 (21年度実績は、8月頃判明)</p> <p>農業集落排水事業（喜来地区）において、平成21年度から稼働。（計画処理人口2,490人）</p> <p>美馬市では、舞中島地区において、汚水管路整備（1,900m）を進めた。</p> <p>三好市及び美馬市で、農業集落排水施設の機能強化対策調査を実施した。</p>

<p>工場・事業場からの排水について計画的な立ち入り指導を実施し、河川への汚濁負荷量削減に努めます。住民の自主的な活動の支援や浄化槽教室の開催など意識啓発を実施します。</p> <p>浄化槽教室の開催（年4回）²² 16回（累計）</p>	<p>つるぎ町では、貞光地区において、公共下水道事業の汚水管路（1,787m）を整備するとともに、公共下水対象区域外では、合併処理浄化槽28基に設置補助金を交付した。</p> <p>東みよし町では、三好地区において、公共下水道事業の整備を進めており本年度も昼間・足代地区において汚水管路整備工事（約1,000m）を実施した。また、終末処理場増設工事もH.21年12月に完成した。また、公共下水道対象区域外では、合併処理浄化槽の設置を推進した。</p> <p>工場・事業場への立ち入り検査並びに排水調査を計35回実施し、放流先河川への汚濁負荷量の削減に努めた。</p> <p>家屋の新築・改築等に際し、新たに合併処理浄化槽を設置した者（事業所等を含む。）に対し、法律、浄化槽の仕組み及び維持管理等の重要性を周知するため、浄化槽教室を美馬・三好の各地区で夏・冬の各2回実施した。</p> <table border="0"> <tr> <td>三好地区</td> <td>8月25日</td> <td>三好庁舎</td> <td>参加者</td> <td>8人</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>12月15日</td> <td>三好庁舎</td> <td>参加者</td> <td>13人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>美馬地区</td> <td>7月14日</td> <td>美馬庁舎</td> <td>参加者</td> <td>6人</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>10月27日</td> <td>美馬庁舎</td> <td>参加者</td> <td>10人</td> <td>計37人</td> </tr> </table> <p>浄化槽教室の開催 ²¹ 4回 累計12回</p>	三好地区	8月25日	三好庁舎	参加者	8人			12月15日	三好庁舎	参加者	13人		美馬地区	7月14日	美馬庁舎	参加者	6人			10月27日	美馬庁舎	参加者	10人	計37人
三好地区	8月25日	三好庁舎	参加者	8人																					
	12月15日	三好庁舎	参加者	13人																					
美馬地区	7月14日	美馬庁舎	参加者	6人																					
	10月27日	美馬庁舎	参加者	10人	計37人																				

(2) 環境保全

施策・数値目標	平成21年度の進捗状況
<p>自然公園における自然景観の保護や利用の増進を図ります。</p> <p>保護回復事業の実施箇所 ¹⁸ 2カ所 ²² 6カ所（累計）</p>	<p>民間の協力を得るなどして自然公園における自然景観の保護や利用の増進を図った。</p> <p>保護回復事業の実施箇所 ²¹ 5箇所（累計）</p>
<p>地域で取り組む耕作放棄地の防止と農業用水等の保全を支援します。</p> <p>農地・農業用水等を保全するために共同作業に取り組んだ活動組織数（累計） ¹⁸ - ²² 19組織</p>	<p>美馬市では、剣山観光登山者への対応と自然環境を守るため、剣山山頂付近の公衆トイレの補修を平成21年度中に実施するとともに、新たな公衆トイレの整備へ向け関係機関と連携し取り組みを推進する。</p> <p>共同作業を行うべく農家による19の組織により、用水の維持管理、遊休地を利用した景観保全、水環境の保全向上等の作業を実施した。</p> <p>農地・農業用水等を保全するために共同作業に取り組んだ活動組織数（累計） ²² 19組織</p>
<p>中山間地域の農地管理、集落活動など共同取り組みをする集落協定数（中山間地域等直接支払制度） ¹⁸ 256協定 ²² 維持</p>	<p>中山間地域等直接支払制度による集落活動を支援した。</p> <p>地域活性化活動の状況を把握しその推進・協力を行った。</p> <p>集落協定数 ²¹ 256協定（維持）</p>

耕作放棄地への菜の花やみつまたなどの新規作付け面積（累計）

菜の花 20 100 a 22 400a

みつまた 20 - 22 300a

ふるさと水と土指導員 認定数（累計）

18 9人 22 11人

間伐等による健全な森林の整備や適切な森林の管理・保全を推進します。

間伐実施面積（4カ年累計）（再掲） 22 8,100 h a

保安林指定面積（4カ年累計） 22 820 h a

森林認証取得団体（累計）

18 2団体 22 15団体

森林認証モデル林の設置（再掲） 20 設置

森林整備地域活動において施業の集約化に取り組む実施協定数（累計）

18 - 22 4協定

野生動植物との共生を図るために必要な保全対策と鳥獣被害防止施設等の整備など被害対策を進めます。

鳥獣被害防止施設等の整備件数（累計）

18 66件 22 75件

野生鳥獣救護ボランティア数（累計）

18 2人 22 11人

鳥獣被害対策指導員数（累計）

18 14人 22 18人

建設廃棄物のリサイクルや再生資材の活用、不法投棄等の防止を推進します。

特定建設資材廃棄物のリサイクル率 22 95%

地域の耕作放棄地解消計画により、和牛放牧後の菜の花作付けをすすめ耕作放棄地解消を図った。
また、山間地の耕作放棄地にはみつまたなどの作付けをすすめることで農地の再利用を図りつつある。

耕作放棄地への菜の花やみつまたなどの新規作付け面積

菜の花作付け面積 21 130 a 累計230 a

みつまた作付け面積 21 250 a 累計250 a

ふるさと水と土指導員の活動内容に対し補助を実施した。

搬出間伐を中心に素材生産の増大を図った。

間伐実施面積 21 1,829ha 累計:6,052ha

公益的機能の発揮が特に必要な森林について保安林に指定した。

保安林指定面積 21 163 ha 累計679 ha

木材生産者をはじめ、加工・流通業にも取得の働きかけを行い、新たに5団体が認証を取得した。

また、「緑の循環」吉野川ネットワークで、森のショーウィンドウを活用して森林認証のPR活動を行い、認証材による家づくりを推進した結果、14棟の木造施設が建築された。

森林認証取得団体 21 5団体 累計15団体

森林整備地域活動において施業の集約化に取り組む実施協定数（累計） 21 0協定 累計3協定

防護柵等の設置など、鳥獣被害防止対策を進めた。

鳥獣被害防止施設等の整備件数 21 7件 累計79件

野生鳥獣救護の実状にあわせたボランティアの登録を行った。

野生鳥獣救護ボランティア数（累計） 21 11人

鳥獣被害対策指導員の登録を推進した。

鳥獣被害対策指導員数（累計） 21 21人

日常生活の中で地域住民に環境保全の大切さを伝えたり、発見した不法投棄、野外焼却等について、県・市町への情報提供や最寄りの警察署への通報に協力していただくため、管内の啓発リーダーへの研修を実施した。

<p>「不法投棄等撲滅啓発リーダー」研修受講者数（累計） ¹⁸ 20人 ²² 105人 プロイラーなどから排出される家畜排せつ物の堆肥化をすすめ、環境に優しい農業を推進します。 家畜排せつ物の堆肥化率（再掲） ¹⁸ 87% ²² 98% 製材端材などの未利用資源を木質バイオマスエネルギーとして利用研究に取り組みます。（再掲） バイオマス利用研究会の設置 ¹⁹ 設置</p>	<p>不法投棄等撲滅啓発リーダー研修会 2月16日 美馬庁舎、2月18日 三好庁舎で開催 「不法投棄等撲滅啓発リーダー」研修受講者数 ²¹ 28人（予定）（累計）105人 牛糞等の堆肥舎整備を推進し、管内畜産農家における堆肥化率を向上させるよう取り組んだ。 家畜排せつ物の堆肥化率 ²¹ 98% 未利用木質資源の利用拡大を図るため、管内で発生する林地残材を対象に収集・運搬・販売までの実証試験を実施し、今後の利用拡大を図るためのデータ等を集積し、採算性等の検討を行った。</p>
<p>アドプトプログラムを推進し、参加団体の拡大に努めます。 アドプト参加団体数（累計） ¹⁸ 16団体 ²² 100団体 住民と行政が協働で道路景観の向上を図り、地域の歴史・文化や自然を活かした地域づくりを支援する「とくしま風景街道」の取り組みを推進します。 「とくしま風景街道」ルート数（再掲） - ²² 2ルート</p>	<p>三好市では、平成20年度に三好市バイオマスタウン構想を策定した。構想の柱として菜の花、ヤトロファ、木質バイオマス利用、廃棄物資源化のプロジェクト4項目について具体化できるものから順次検討・推進を行った。 アドプトプログラムの趣旨の浸透を図り、参加団体の拡大に努めた。 アドプト参加団体数（累計） ²¹ 107団体 美馬市では「美馬市まほろば夢街道」、三好市では「三好市秘境口マン街道」として「とくしま風景街道」のルート登録がなされ、地域内外との交流・連携を推進した。 「とくしま風景街道」ルート数（再掲） ²¹ 2ルート 美馬市では、風景街道として登録された「美馬市まほろば夢街道」のマップづくりを行い、地域内外へのPRなどを行いながら、交流・連携した地域づくりを行った。 三好市では、街道沿線の各地域資源、歴史的文化、観光資源を活かし、官民一体となったイベントや清掃活動などの取組を行った。</p>

(3) 自然とのふれあい

施策・数値目標	平成21年度の進捗状況
<p>県民参加の森づくりの開催など森林にふれあう機会の創出と意識啓発を進めます。 県民参加の森づくりの開催回数（年2回）²² 8回（累計） 森林ボランティアのリーダーや緑の少年隊の育成を図ります。 森林ボランティアの活動への支援 緑の少年隊の活動への支援</p>	<p>多くの県民が森林にふれあう機会が得られるよう、「県民参加の森づくり」を開催した。 県民参加の森づくりの開催回数 ²¹ 3回 累計10回 引き続き、森林ボランティア団体、緑の少年隊への活動支援を行った。</p>

<p>自然環境に配慮した公共事業や住民と協働して自然環境を守りつつ多自然川づくりを推進します。</p>	<p>自然環境や景観に配慮した工法での工事を行った。</p> <p>美馬市では、「水辺の楽校」を5月に開校するとともに、本年度に親水公園や広場等の整備を行った。</p> <p>三好市では、市民との協働により景観計画の策定に取り組んでいる。また、歴史的風致維持向上計画の認定を目指し、自然環境に配慮した公共事業の推進を検討した。</p> <p>東みよし町では「水辺の楽校」にて国土交通省と連携し、自然環境について学ぶ参加型イベントを開催した。 開催日 11月21日</p>
---	---

6 地域に根ざした産業や文化を支える人づくり ～ 地域を担う人が輝く西部 ～

(1) 担い手育成

施策・数値目標	平成21年度の進捗状況
<p>経営感覚に優れた農業者や農作業の受託を行うファームサービス事業体の育成などを進めます。(再掲)</p> <p>認定農業者数(累計) 18 231経営体 22 285経営体</p> <p>ファームサービス事業体数(累計) 18 12経営体 22 16経営体</p> <p>家族経営協定数(累計) 18 114経営体 22 300経営体</p> <p>新規就労者の就業支援と技術習得研修、居住環境の整備等の充実を図ります。</p> <p>新規就農者数(累計) 18 3人 22 20人</p> <p>地域あぐりシステムによる就農支援</p> <p>森のエキスパート(技術者)育成者数(累計)(再掲)</p>	<p>パソコン簿記講習会等の開催や、経営改善計画の作成支援を行い、経営感覚に優れた農業者やファームサービス事業体の育成を進めた。</p> <p>また、経営内の役割を明確化するとともに家族労働の改善を図るため、家族経営協定の締結を推進した。 認定農業者数 21 5経営体 累計 256経営体</p> <p>ファームサービス事業体数 21 3経営体 累計 16経営体</p> <p>家族経営協定数 21 4経営体 累計 276経営体</p> <p>営農相談等や技術支援により、新規就農者の就業支援を図った。 新規就農者数 21 2人 累計 23人</p> <p>団塊の世代の定年後の就農を支援する研修プログラム「地域あぐりシステム」による研修生の受け入れに取り組んだ。</p> <p>職場での実務を通じて行う従業員の教育訓練を中心に、森のエキスパート育成の支援を行った。 森のエキスパート(技術者)育成者数</p>

18 20人	22 40人	21 8人 累計40人
緑の研修生 の定着数		徳島県森林整備担い手対策基金事業等により搬出間伐への積極的な取組を図り、緑の研修生の定着促進に努めた。
17 -	22 9人	緑の研修生の定着数 21 5人 累計12人

(2) 地域文化の継承とコミュニティの活性化

施策・数値目標	平成21年度の進捗状況
<p>市町と連携し地域文化の担い手を育成します。</p> <p>地域文化活動団体数(累計)</p> <p>18 29団体 22 30団体</p>	<p>地域文化推進のための助成制度などの情報提供を行った。</p> <p>地域文化活動団体数(累計) 21 35団体</p> <p>美馬市では、市無形民俗文化財の三味線もちつき保存会「うだつ」のメンバーが実技全行程を後継者育成のため、子供教室を開催した。(餅つきを通して社会の体験学習)</p> <p>三好市では、歴史的風致維持向上計画の認定を目指し、地域文化の継承を図った。</p>
<p>地域の高齢者パワーのより積極的な活用等を図ります。</p> <p>シルバー大学院西部校の開設 21 開設</p> <p>シルバー大学院のサテライト講座の開設 19 開設</p> <p>生きがいつくり推進員の養成</p>	<p>シルバー大学院の美馬校では総合講座が、東みよし校では総合講座及びICT講座が行われた。</p> <p>東みよし校では、大学院が開設され、ICT講座が行われた。</p>
<p>市町などが取り組む既存施設を有効活用した文化活動拠点の充実等について連携し研究を行います。</p>	<p>美馬市では、9月17日(木)に東京交響楽団を招き、クラシックコンサートを実施した。又、国指定重要文化財三木家住宅前でコンサート、国の登録有形文化財青木家住宅前でピアノコンサート、市指定有形文化財脇町劇場で第5回文化祭を開催した。</p> <p>三好市では、第二回三好市民文化祭を開催し、音楽と伝統芸能を通じて文化振興を図る。9月19日に「青島広志のおしゃべりクラシックコンサート」11月1日「狂言」野村万蔵の会。11月15日「上野の森ブラスコンサート」11月28・29日「人形浄瑠璃公演」場所はすべて池田総合体育館で実施した。</p> <p>また、6月7日に西祖谷山村コミュニティセンター(農村舞台)で「襖からくり」と郷土芸能の公演を開催した。</p> <p>12月6日に三野町公民館で「芝生城址探査報告会と講演会」を開催した。</p> <p>つるぎ町では、国の登録文化財「織本屋」で第4回企画展「いにしへのつるぎの長者たち」を開催した。</p>

	4月23日～5月12日 延べ入場者数550名 東みよし町では、10月11日に法市農村舞台において人形浄瑠璃・オカリナ演奏・糸操り人形・阿波踊り公演を開催し町内外から約300人の来場者があった。
--	---

7 多様な主体の連携・協働による地域づくり活動の推進 ～ 連携の輪がひろがる西部 ～

(1) 住民・NPO等との連携

施策・数値目標	平成21年度の進捗状況
<p>NPO・ボランティア等との協働・連携の推進に向け、地域づくり活動を支援します。</p> <p>「とくしま県民活動プラザ」サテライトオフィス設置 ²¹ 設置</p> <p>NPO法人数(累計) ¹⁸ 16団体 ²² 24団体 ボランティア・アドプト登録人口(累計) ¹⁸ 16,421人 ²² 19,000人 社会貢献活動団体等との協働事業の推進</p> <p>農家との協働による農業農村整備事業数(累計) ¹⁸ 7地区 ²² 8地区</p> <p>徳島県立総合大学の西部校を開校し、県民のニーズに応じた学習を総合的に支援します。 徳島県立総合大学西部校 ²⁰ 開校</p>	<p>NPO・ボランティア団体に関する相談支援や情報提供を行う「西部サテライトオフィス事業」を実施し、とくしま県民活動プラザ、市町及び市町社協と連携して、各市町で「移動オフィス」を開設(各市町1回 計4回実施)した。当事業において、NPO法人育成のため、設立に関する指導や相談支援を行った。</p> <p>「とくしま県民活動プラザ」サテライトオフィス設置 ²¹ 設置 各種団体の活動促進及び組織づくり支援を目的として、「NPOフォーラム」(とくしま県民活動プラザの委託事業)を開催する。 開催日 3月6日 会場 美馬市脇町福祉センターほか</p> <p>NPO法人数(累計) ²¹ 22団体</p> <p>ボランティア・アドプト登録人口 ²¹ 19,040人</p> <p>美馬市では、広域的な地域活動を推進するため、2つ以上の自治会が連携し地域活性化事業を行う「自治会共創と協働モデル事業」を実施した。</p> <p>三好市では、近畿地区の三好市出身者で組織する「近畿三好ふるさと連合会」を設立し、三好市出身者の親睦と交流を図るとともに、市の活性化に向けての連携が行われた。</p> <p>中山間地域総合整備事業により農山村地域の生産基盤と生活基盤の整備を継続して実施した。(1地区完了6地区継続実施)</p> <p>県立総合大学「まなびーあ徳島」西部校として「地域づくり実践講座」や「にし阿波観光案内人養成講座」など7講座を実施するとともに、地域の寄り合いや各種団体の会合等で南海地震の特徴など</p>

<p>アドプトプログラムを推進し、参加団体の拡大に努めます。 アドプト参加団体数(累計)(再掲) 18 16団体 22 100団体</p>	<p>をわかりやすく説明する「寄り合い防災講座」を開催した。 徳島県立総合大学校西部校 開校 西部校講座一覧 地域づくり実践講座 地域振興セミナー 孤立化対策講演会 防災フォーラム にし阿波観光案内人養成講座 親子禁煙チャレンジ 精神保健ボランティア講座 寄合防災講座 受講者合計 1,282人 (平成21年12月末現在) アドプトプログラムの趣旨の浸透を図り、参加団体の拡大に努めた。 アドプト参加団体数(累計) 21 107団体</p>
--	--

(2) 市町との連携

施策・数値目標	平成21年度の進捗状況
市町へ対し旧合併特例法に基づく支援を行います。	圏域4市町に対し、合併推進体制整備費補助金、徳島県合併特別交付金及び合併特例債による支援を行った。
市町への権限移譲を推進します。	徳島県権限移譲推進要綱に基づき、圏域市町への権限移譲を推進した。 21 美馬市 3事務、三好市 2事務、つるぎ町 3事務、東みよし町 3事務
西部地域支援センターにより、県、市町、民間団体が連携・協働し地域づくりを総合的に支援します。	平成19年度に立ち上げた「ブロードバンド」及び平成20年度に立ち上げた「交流・移住促進」のプロジェクトチームによる調査研究を継続した。
地域支援センターの設置 19 設置 プロジェクトチームの設置数(累計) 18 - 22 8件	<p>プロジェクトチームの設置数(累計) 21 7件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブロードバンドプロジェクト テーマ 高速情報通信網の整備と利活用の促進 開催回数 3回(予定) ・交流・移住促進プロジェクト テーマ 交流移住の推進 開催回数 2回(予定) <p>とくしま政策研究センターと連携し、調査研究を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域資源データの整理、分析 ・モデル的広報媒体(パンフレット、PRデータ)を作成 ・講演会の開催 テーマ 「交流移住に向けた地方からの情報発信について」 2月18日 会場 県民局美馬庁舎大会議室
	「住民との意見交換会を開催し、テーマに沿った意見をいただき、地域のニーズの把握や住民との連携強化を図った。

テーマ	参加と協働による(地域の道・川)づくり
	2月10日 会場 県民局三好庁舎大会議室
テーマ	地域医療を考える
	3月6日(予定) 会場 三好市池田総合体育館